



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 日立金属株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5486 URL <http://www.hitachi-metals.co.jp/>

代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 藤井 博行

問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション室長 (氏名) 西家 憲一

TEL 03-5765-4075

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	407,179	4.9	33,325	△2.1	32,346	5.8	14,691	△10.7
23年3月期第3四半期	388,035	25.9	34,031	838.8	30,568	—	16,455	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 9,675百万円 (△3.7%) 23年3月期第3四半期 10,050百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	41.68	—
23年3月期第3四半期	46.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	582,918	233,083	36.6	604.77
23年3月期	529,869	228,010	39.3	591.51

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 213,139百万円 23年3月期 208,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	570,000	9.6	44,500	3.1	40,500	7.7	21,700	△2.3	61.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	366,557,889 株	23年3月期	366,557,889 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	14,125,360 株	23年3月期	14,115,670 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	352,435,383 株	23年3月期3Q	352,463,902 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、一般的に景気の回復が弱まりました。欧州は、債務問題から生じる金融不安が払しょくされず、足踏み状態となり、米国は、雇用情勢が改善せず緩やかな回復が続きました。一方、中国をはじめとする新興国は、景気過熱やインフレ圧力などの問題があるものの、底堅い経済成長を続けています。わが国経済は、東日本大震災による落ち込みから戻りつつあるものの、急激な円高の進行や海外経済の回復が弱まったことなどにより、持ち直しの動きが緩やかになりました。

当社グループの関連業界では、自動車は、国内ではサプライチェーンの立ち直りで生産が急速に回復、海外では中国や欧州市場がやや減速したものの、米国市場は好調に推移しました。情報関連機器は、スマートフォンなどの需要が市場を牽引しました。半導体は、携帯電話やタブレット端末などの需要は堅調だったものの、パソコン市場が欧米で伸び悩み低調に推移しました。鉄鋼は、国内では内需が増加したものの輸出向けが弱く総じて減少した一方、海外では拡大基調を維持しています。国内住宅建設は、持ち直しの動きがみられ、公共投資は、補正予算の効果もあり、底堅い動きとなっています。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、自動車生産の回復により、前年同期比4.9%増の407,179百万円となりました。一方、営業利益は、コスト削減に努めたものの、原材料価格高騰やエレクトロニクス関連製品の生産調整の影響などにより、前年同期比706百万円減の33,325百万円となりました。経常利益については、前年同期比1,778百万円増の32,346百万円、四半期純利益については、事業構造改善費用1,043百万円、タイの洪水被害による特別損失2,209百万円を計上したことから、前年同期比1,764百万円減の14,691百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

①高級金属製品

当セグメントの売上高は、前年同期比1.5%減の165,967百万円となりました。営業利益は、前年同期比3,672百万円減の15,405百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

<金型・工具用材料>

工具鋼は、主要な用途である国内の自動車用金型の需要が回復し好調でした。

<電子金属材料>

液晶パネル関連材料は、薄型テレビやパソコンなどの需要が落ち込み減少しました。

半導体等パッケージ材料は、半導体需要の低調により減少しました。

<産業機器・エネルギー関連材料>

自動車関連材料は、国内生産の回復と海外向け需要が旺盛で伸長しました。

エネルギー関連材料は、産業機器用や航空機用部品などの需要が続き好調でした。

<各種ロール>

海外の市場は、新興国が牽引し伸長しましたが、国内では顧客の輸出不振などによる減産基調が回復せず、全体では減少しました。

<射出成形機用部品>

射出成形機用部品は、タイの洪水被害に対する復旧用の需要もあり好調でした。

<切削工具>

主要顧客である自動車関連産業向けの工具需要は、比較的好調に推移しました。

②電子・情報部品

当セグメントの売上高は、前年同期比15.5%増の117,142百万円となりました。営業利益は、前年同期比4,307百万円増の16,312百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

<マグネット>

希土類磁石は、原材料価格の高騰が続く中、FA関連や家電用部品の生産調整が入ったものの、自動車用電装部品の国内生産回復もあり、全体では大幅に伸長しました。

フェライト磁石においても、家電用部品で生産調整があったものの、自動車の国内生産回復により自動車用電装部品が好調に推移し、全体では伸長しました。

<軟質磁性材料>

アモルファス金属材料は、主要市場である中国での需要が停滞していることに加え、国内の電力会社の設備投資抑制もあり減少しました。ソフトフェライトは、スマートフォン関連は好調でしたが、電装部品や家電用部品で生産調整などもあり減少しました。ファインメットは、自動車関連は回復基調にあるものの、産業機器関連の需要減や太陽光発電用の在庫調整が続き減少しました。

<情報通信機器用部品>

情報通信機器用部品は、携帯電話関連で顧客の販売計画見直しなどによる生産調整やデジタル家電などへの採用が進まず減少しました。

③高級機能部品

当セグメントの売上高は、前年同期比5.0%増の125,020百万円となりました。一方、営業利益は、前年同期比1,465百万円減の7,040百万円となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

<高級ダクタイル鋳鉄製品>

高級ダクタイル鋳鉄製品は、国内は東日本大震災の影響から徐々に回復しているものの、減少となりました。海外では米国などでの販売が好調に推移しており、全体では横ばいとなりました。

<耐熱鋳造部品>

耐熱鋳造部品は、排ガス規制強化や省エネ対応を背景に、欧米の自動車メーカー向け輸出を中心に需要旺盛に推移し伸長しました。

<アルミホイール>

アルミホイールは、東日本大震災の影響による自動車の減産と円高の影響により、顧客の輸出向けに生産調整が入り減少しました。

<各種管継手>

各種管継手は、住宅着工戸数の持ち直しの動きがみられるものの前期並みとなりました。

<ステンレス及びプラスチック配管機器>

ステンレス及びプラスチック配管機器は、東日本大震災復興の需要と震災で停止していた建設工事が徐々に持ち直し好調でした。

<建築部材>

建築部材は、東日本大震災復興の需要と建設・設備投資がやや持ち直したことを受け伸長しました。

④その他

当セグメントの売上高は、前年同期比12.0%増の2,812百万円となりました。一方、営業利益は、前年同期比35百万円減の467百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,473百万円減少し、30,521百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は、10,570百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が28,730百万円となったものの、たな卸資産等の運転資金の増加42,271百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、14,513百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が15,593百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、23,304百万円となりました。これは主にコマーシャル・ペーパーの発行20,000百万円の資金調達があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計業績は、エレクトロニクス関連製品が低調に推移したものの、自動車関連分野の需要は国内・海外ともに堅調に推移しました。今後も厳しい事業環境が続くものと見込んでおりますが、平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の通期業績予想につきましては、平成23年10月27日公表の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,712	26,061
受取手形及び売掛金	95,728	107,792
商品及び製品	39,677	48,768
仕掛品	28,979	36,556
原材料及び貯蔵品	39,950	71,165
関係会社預け金	5,265	4,312
その他	21,840	34,668
貸倒引当金	△525	△450
流動資産合計	259,626	328,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,157	49,814
機械装置及び運搬具（純額）	72,854	66,350
土地	50,521	49,469
その他（純額）	9,500	9,106
有形固定資産合計	186,032	174,739
無形固定資産		
のれん	41,549	39,402
その他	8,003	7,224
無形固定資産合計	49,552	46,626
投資その他の資産		
投資有価証券	15,043	13,500
その他	21,654	21,191
貸倒引当金	△2,038	△2,010
投資その他の資産合計	34,659	32,681
固定資産合計	270,243	254,046
資産合計	529,869	582,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,145	99,718
短期借入金	48,422	53,838
コマーシャル・ペーパー	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	8,002	13,565
未払法人税等	4,631	8,212
引当金	294	170
その他	36,259	32,071
流動負債合計	175,753	227,574
固定負債		
社債	24,000	34,000
転換社債型新株予約権付社債	20,105	4,600
長期借入金	49,293	51,557
退職給付引当金	22,072	22,614
その他の引当金	3,209	3,160
資産除去債務	377	384
その他	7,050	5,946
固定負債合計	126,106	122,261
負債合計	301,859	349,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	41,244	41,244
利益剰余金	170,471	180,932
自己株式	△10,694	△10,704
株主資本合計	227,305	237,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,812	2,783
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	△20,687	△25,442
在外子会社年金債務調整額	△1,959	△1,959
その他の包括利益累計額合計	△18,833	△24,617
少数株主持分	19,538	19,944
純資産合計	228,010	233,083
負債純資産合計	529,869	582,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	388,035	407,179
売上原価	300,562	318,852
売上総利益	87,473	88,327
販売費及び一般管理費	53,442	55,002
営業利益	34,031	33,325
営業外収益		
受取利息	261	227
受取配当金	117	118
受取保険金	—	1,207
その他	2,395	2,180
営業外収益合計	2,773	3,732
営業外費用		
支払利息	1,317	1,358
為替差損	2,097	969
その他	2,822	2,384
営業外費用合計	6,236	4,711
経常利益	30,568	32,346
特別利益		
受取和解金	—	302
確定拠出年金制度移行差益	—	224
特別利益合計	—	526
特別損失		
減損損失	302	663
災害による損失	—	2,209
関係会社整理損	293	227
事業構造改善費用	—	1,043
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	28	—
特別損失合計	623	4,142
税金等調整前四半期純利益	29,945	28,730
法人税等	12,397	12,844
少数株主損益調整前四半期純利益	17,548	15,886
少数株主利益	1,093	1,195
四半期純利益	16,455	14,691

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,548	15,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	159	△832
繰延ヘッジ損益	—	1
為替換算調整勘定	△7,599	△5,091
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	△289
その他の包括利益合計	△7,498	△6,211
四半期包括利益	10,050	9,675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,590	8,907
少数株主に係る四半期包括利益	460	768

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29,945	28,730
減価償却費	20,824	20,337
のれん及び負ののれん償却額	1,952	1,971
投資有価証券評価損益(△は益)	38	88
災害損失	—	2,209
事業構造改善費用	—	1,043
受取利息及び受取配当金	△378	△345
支払利息	1,317	1,358
売上債権の増減額(△は増加)	△6,437	△15,465
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23,104	△51,269
仕入債務の増減額(△は減少)	13,116	24,463
未払費用の増減額(△は減少)	△826	△3,205
その他	△434	△13,003
小計	36,013	△3,088
法人税等の支払額	△3,867	△7,482
法人税等の還付額	852	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,998	△10,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	77	18
関係会社株式の売却による収入	11	14
有形固定資産の取得による支出	△13,155	△15,593
有形固定資産の売却による収入	506	641
無形固定資産の取得による支出	△750	△430
事業譲受による支出	△3,721	—
利息及び配当金の受取額	340	326
その他	136	511
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,556	△14,513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,217	6,454
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	2,000	20,000
長期借入れによる収入	16,600	13,137
長期借入金の返済による支出	△1,296	△4,778
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△29,895	△15,505
利息の支払額	△1,412	△1,351
自己株式の取得による支出	△28	△10
配当金の支払額	△4,230	△4,230
少数株主への配当金の支払額	△334	△413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,812	23,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,466	△1,694
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,836	△3,473
現金及び現金同等物の期首残高	43,639	33,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,803	30,521

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	電子・情報 部品	高級機能 部品	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	166,970	101,078	118,954	387,002	1,033	388,035	—	388,035
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,471	371	78	1,920	1,478	3,398	△3,398	—
計	168,441	101,449	119,032	388,922	2,511	391,433	△3,398	388,035
セグメント利益 (営業利益)	19,077	12,005	8,505	39,587	502	40,089	△6,058	34,031

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	高級金属 製品	電子・情報 部品	高級機能 部品	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	164,115	117,025	124,915	406,055	1,124	407,179	—	407,179
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,852	117	105	2,074	1,688	3,762	△3,762	—
計	165,967	117,142	125,020	408,129	2,812	410,941	△3,762	407,179
セグメント利益 (営業利益)	15,405	16,312	7,040	38,757	467	39,224	△5,899	33,325

報告セグメントに属する主要な製品

報告セグメント	主要製品
高級金属製品	高級特殊鋼（金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料）、各種ロール（鉄鋼圧延用・非金属圧延用・非金属用）、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、切削工具
電子・情報部品	マグネット（希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石等およびその応用品）、情報通信機器用部品（積層部品、アイソレータ）、IT機器用材料・部品、軟質磁性材料（ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]およびその応用品）
高級機能部品	自動車用高級鋳物部品（高級ダクタイル鋳鉄製品、耐熱鋳造部品、アルミホイール、その他アルミニウム製品）、設備配管機器（各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器）、建築部材（内装システム、構造システム、マテハンシステム）

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。